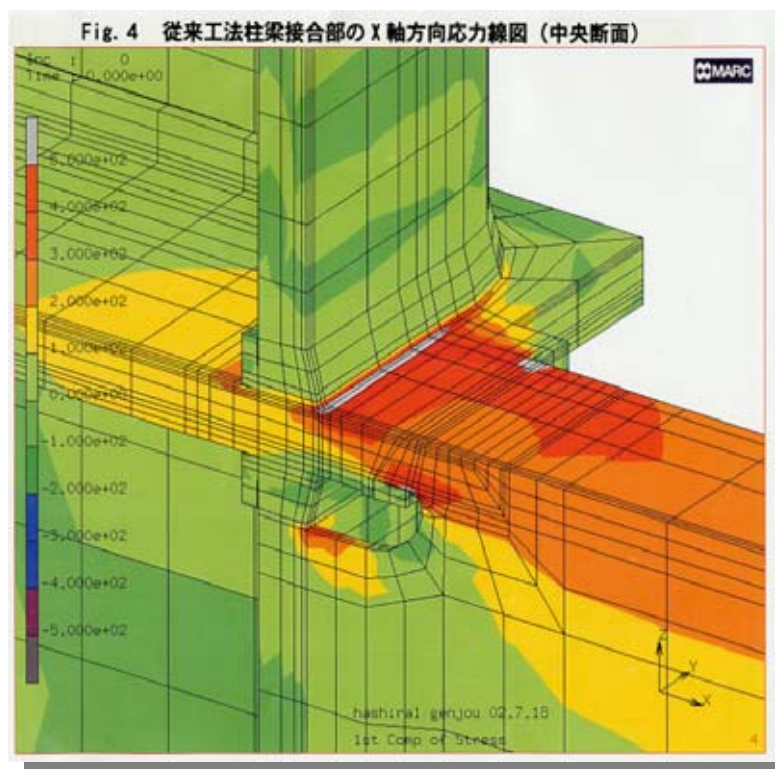


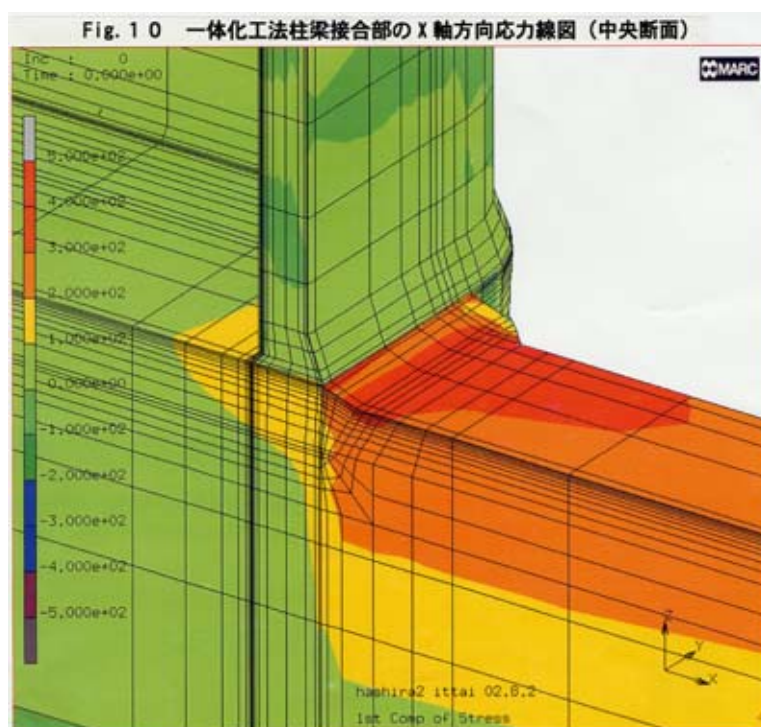
- 6 一体化工法の場合、柱と梁の溶接部は一体化されており、3次元有限要素法（FEM）応力解析結果では発生応力が従来に比較して、1/2以下と低い値になっている。

従来工法



ねずみ色の高応力部が大きく発生

一体化工法



<補足説明>

一体化工法をWAWO構法と併用して用いれば、一体化部分の発生応力が梁部分の最大応力の1/2以下であり、柱梁接合部の破壊部分は梁となります。